

石川町

# 議会だより



No. 185

平成27年 12月 1日

発行／石川町議会  
編集／石川町議会広報  
編集特別委員会

▲第60回福島県高等学校駅伝競走大会

2015

9月定例会

P2 9月定例会審議結果

P5 紙上中継 (各常任委員会)

P6 9月定例会一般質問

P11 あれからどうなった?  
(一般質問のその後は)

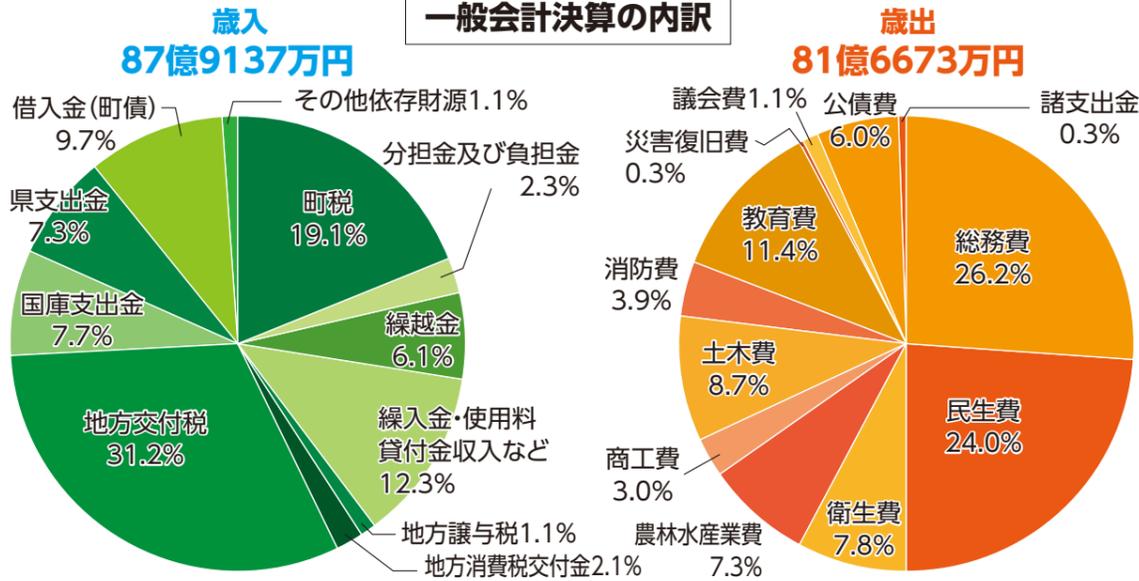
# 26年度 一般会計 特別会計

# 総額121億円は

# どう使われたのか

# 決算 審議

## 一般会計決算の内訳



▲完成した統合小学校

平成27年9月定例会は、10月1日から8日までの8日間の会期で決算審議を中心に開催されました。はじめに、平成26年度財政比率の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議、そのほか条例の改正や補正予算、人事案件、請願・陳情、議員発議を審議し、案のとおり可決・認定・採択されました。一般質問には5人の議員が登壇し、38人の傍聴者がありました。

## 平成26年度石川町健全化判断比率について(報告)

区分	早期健全化比率	(参考) 平成25年度
①実質公債費比率(3年間平均)	8.5% (起債の許可が必要18.0%) (早期健全化基準25.0%)	9.7%
②将来負担比率	9.5% (早期健全化基準350.0%)	15.6%
③実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	-
④連結実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	-

\*①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率  
②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

## 平成26年度石川町資金不足比率について(報告)

区分	資金不足比率
水道事業会計	資金不足がないため算定なし
簡易水道事業特別会計	資金不足がないため算定なし
宅地造成事業特別会計	資金不足がないため算定なし

**決算審査報告**  
代表監査委員 渡邊 英昭  
監査委員(議員) 下山田和雄

「審査結果」  
平成26年度決算審査は、水道事業会計を2日間、一般会計及び特別会計などを8日間審査しました。監査の結果は、各会計とも適正に処理されており、しかし、予算の流用や

予備費の充当は、緊急対応等やむを得ないものが大部分でしたが、適切な予算執行をお願いします。また、収入未済額については原因等を的確に把握し、適切な指導を行うとともに、収入未済額の圧縮が望まれます。町の財政状況については、地方公共団体財政健全化法に基づき実質公債費比率並びに将来負担比率については、いずれも前年度に比べ数値は改善されています。また、早

期健全化基準を下回っていることを確認しました。「審査意見」  
財政の示す数値が、好転しましたが、引き続き厳しい状況には変わりないことを十分に認識され、財政の健全化に向け、さらなる努力をお願いする。同時に、今後も、町民ニーズの変化や時代の要請に的確に対応できるように、施策・事業を計画的に推進し、町民福祉の向上に寄与されるよう望むものです。

## 平成26年度会計別決算審議

(万円未満は四捨五入)

会計別	歳入	歳出	歳入歳出差引額	採決	賛・反	
一般会計	87億9137万円	81億6673万円	6億2464万円	認定	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	21億7622万円	20億9781万円	7841万円	認定	全員賛成
	後期高齢者医療	1億5996万円	1億5859万円	137万円	認定	全員賛成
	介護保険	15億9330万円	15億5122万円	4208万円	認定	全員賛成
	母畑財産区	2506万円	552万円	1954万円	認定	全員賛成
	中谷財産区	1015万円	24万円	991万円	認定	全員賛成
	土地開発事業	1861万円	1239万円	622万円	認定	全員賛成
	簡易水道事業	1億3270万円	1億2758万円	512万円	認定	全員賛成
	宅地造成事業	5144万円	4972万円	172万円	認定	全員賛成
水道事業会計	剰余金処分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金6113万円は、建設改良積立金に積み立てをする		可決及び認定	全員賛成	
	収益的収支	2億6900万円	1億9858万円			7042万円
	資本的収支	2314万円	1億3068万円			△1億0754万円

(水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんした)

## 平成26年度主な事業

- ◆統合小学校建設事業
  - ◆中学校空調設備設置工事
  - ◆新庁舎建設実施計画
  - ◆新庁舎建設事業
  - ◆集会所整備事業
  - ◆特別養護老人ホーム施設整備支援事業
  - ◆商店街まちづくり事業(街路灯LED化)
  - ◆道路整備事業
  - ◆町営住宅外壁塗装工事
  - ◆屯所新築工事
  - ◆温水プール施設ボイラー更新事業
- その他、さまざまな事業に使われました。

# 紙 上 中 継

## 常任委員会審査



▲いわき石川線を走る路線バス

**Q** 路線の数・補助額・算定方法は、  
**A** 石川駅・石川営業所を起終点に、白河駅や須賀川駅、小野駅、浅川、古殿、平田などの周辺市町村と連絡する12路線が運行されています。交通弱者の移動手段を確保するため、運賃では賄い切れない経費の不足をバス事業者に補てんし、運行を維持しています。平成26年度、町では、バス事業者に対し全12路線で1332万4177円の補助金を交付しています。被災地特例措置期間が切れると倍

**Q** 震災の被災地特例措置期間が切れると倍  
**A** 震災以降、被災地間のバス路線を確保維持することを目的に、国県補助の要件が緩和され、本町の12路線中8路線が補助路線となり、収支差額の2分の1が補てんされていることから、町の補助金が震災前に比べ大きく減額となっています。平成27年度をもって特例措置が終了する予定であることから、平成28年度以降は、現在の約3倍の4000万円程度になると見込んでいます。  
**Q** 今後町の負担額が増えると思われ、その対策は。  
**A** 1人でも多くの町民が当たり前のよう地域公共交通を利用する雰囲気醸成を目指し、町民行政、事業者の3者で新たな地域公共交通ネットワークをつくり、育てる仕組みの構築を図りながら、利用者の拡大を図りたいと考えています。



▲サロン交流会を楽しむ皆さん

**Q** 地区ミニデイサービス及び高齢者いきいきサロンの活動内容は。  
**A** 地区ミニデイサービスは、平成12年度の介護保険制度の施行に伴い、介護予防のために始まり、4地区で活動しています。高齢者いきいきサロンは、平成17年度の介護予防重  
**Q** 今後、町がどのような支援や指導を行っているのか。  
**A** 高齢者が主体となつて、地区で介護予防や支え合いができるよう継続して支援をしていきます。また、高齢者だけでなく、高齢者を支える若年層にも、介護や高齢者の現状を伝え、地域の中で支え合うことの大切さを伝えていきたいと考えています。

### 総務産業建設常任委員会 どうなる公共交通バス(生活路線)補助金の額と今後は 平成27年度で震災特例補助金が終了

### 文教厚生常任委員会 地区ミニデイ及び高齢者いきいきサロンの活動について ミニデイは4地区、サロンは41ヶ所で活動をしています

**Q** 震災以降、被災地間の補助額になるのか。  
**A** 震災以降、被災地間のバス路線を確保維持することを目的に、国県補助の要件が緩和され、本町の12路線中8路線が補助路線となり、収支差額の2分の1が補てんされていることから、町の補助金が震災前に比べ大きく減額となっています。平成27年度をもって特例措置が終了する予定であることから、平成28年度以降は、現在の約3倍の4000万円程度になると見込んでいます。  
**Q** 今後町の負担額が増えると思われ、その対策は。  
**A** 1人でも多くの町民が当たり前のよう地域公共交通を利用する雰囲気醸成を目指し、町民行政、事業者の3者で新たな地域公共交通ネットワークをつくり、育てる仕組みの構築を図りながら、利用者の拡大を図りたいと考えています。

## ◆◆ 決まりました ◆◆ 補正予算・条例改正・請願陳情・発議

議案番号	議案・請願・発議など	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
			根本重泰	近内雅洋	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	草野伝明	関根武一	渡辺実	瀬谷京子	永沼一夫	矢内義将	中村孝太郎	山田英重	下山田和雄
議案第74号	平成27年度石川町一般会計補正予算(第2号) 除染土壌輸送業務委託料など4639万8000円、重機借り上げ料など道路維持補修事業に2650万円、災害復旧工事など現年道路橋梁災害復旧事業に899万9000円を増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第75号	平成27年度石川町介護保険特別会計補正予算(第2号) 保健事業勘定において、繰入金等を財源に財政安定化基金拠出金等の所要額を計上するほか、サービス事業勘定においては、繰入金を財源に介護予防経費の所要額を計上するものであり、両勘定を合わせた会計全体で、歳入歳出それぞれ70万4000円を減額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第76号	平成27年度石川町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 前年度繰越金を財源に、施設管理費50万円を増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第77号	平成27年度石川町水道事業会計補正予算(第1号) 営業費用において水道検針システム改修委託料56万2000円を増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第78号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて推薦された角田静夫氏並びに矢吹重光氏に対し意見を求める。	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第9号	「安全保障関連法の強行採決に抗議し、廃止を求める意見書の提出を求める」請願書 請願者：社会民主党石川総支部 芳賀正人	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第1号	「所得税法第56条の廃止」を求める意見書採択に関する陳情書 陳情者：東石民主商工会会長 熊井利治 東石民主商工会婦人部長 鈴木操	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第10号	石川町議会会議規則の一部を改正する規則 提出者：渡辺実議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第11号	石川町議会傍聴規則の一部を改正する規則 提出者：関根武一議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第12号	安全保障関連法の強行採決に抗議し、廃止を求める意見書 提出者：山田英重議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第13号	所得税法第56条の廃止を求める意見書 提出者：根本重泰議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第14号	石川町議会広報編集特別委員会の設置について 提出者：矢内義将議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



## 議会の報告

県町村議会議員研修会  
10月22日、ビッグパレットふくしまで開かれた、県町村議会議員研修会に議員全員が参加し、「人口減少社会の自治体議会」―今後の政局・政治展望―について研修をしました。



小島 芳郎議員

## Q 子どもの担い手育成

### A 農業経営基盤の強化

域についても引き続き本事業の推進を図り農地利

用集積・経営管理の合理化、農業経営基盤の強化

を推進していきたいと考えています。

住宅支援策について。

**質問** 米価下落により耕作意欲低下に対する町の取り組みは。

**答弁** 町は継続して、種もみの購入を助成する米生産意欲向上支援緊急対策事業や水田作業受託者支援事業の対策に取組み水田農業における省力化低コスト化を図り主食米から非主食米への転換を推進していきます。

**質問** 営農組織の育成・耕作放棄地の対策など取り組みについて。

**答弁** 国や県の補助を活用し営農組織は、現在6つの集落で取り組まれています。中山間地域等直接支払交付金制度や多面的機能支払交付金制度を活用し地域の共同活動を支援しています。

**質問** 子育て中の若者のニーズを踏まえた住宅環境の整備を図るため、町営住宅の建設予定地の調査等を実施し来年度の調査設計及び建設を予定しております。分譲住宅地開発を促進するための支援や民間空き家住宅の活用・空き家バンクの創設空き家実態調査を実施しているところですか。

**質問** 中山間地に農地が多い石川町が意欲ある担い手育成や今後農地集積などをどのような形で進めるのか伺う。

**答弁** 平成26年度から始まった農地中間管理事業を継続して行い大区画の圃場整備事業実施地区を中心とする比較的集積・集約しやすい地域や中山間地等の小規模区画の地

**質問** 安定した雇用の創出策を伺う。

**答弁** 企業誘致の促進、町内中小企業に対する各種融資や支援、企業立地

で、補助金は見込めず、起債と町村出資金で賄います。

**質問** 今後3年間の町政の基本的考えは。

**答弁** 町民の視点に立ったオープンな町政運営を基本とし、町民参加の町づくりを進めます。

**質問** 簡易水道と統合は。

**答弁** 総額7億2000万円、平成26年度に字

**質問** 町道幅員4m未満で新築ができない戸数は。

**質問** 重点施策は。

**答弁** 若者の子育て支援や住宅政策、企業立地の推進、まちなか再生、人口減少対策の推進です。

**質問** 第4次拡張計画で料金値上げは。

**答弁** 考えています。

**質問** 町道整備計画の公表を検討し、実施したい。

**質問** 町政懇談会開催は。

**答弁** 実施します。若者の懇談会は早急に行います。

**質問** 公民館に、以前の公民館運営審議会の設置は。

**答弁** 今後、検討します。

**質問** 町道整備計画の公表は。

**質問** 今後、検討します。

**答弁** まちなか再生行動計画は、地元の人参加が不可欠でないか。

**質問** 玉川村との企業団設立は。

**答弁** 当初の企業団方式にこだわらず、共同事業のあり方を検討します。

**質問** 町道幅員3・5m未満道路は178kmです。4mに満たなくとも、みなし道路などの措置もあり、建築不可能な場合は少ないと考えています。

**質問** 藤沢工業団地の残地の販売は。

**答弁** 場合によっては分割もやむを得ない。2年で完売したい。

**質問** 子育て支援策を伺う。

**答弁** 本年3月に「石川町子ども・子育て支援事業計画」を策定し4月には民間保育施設と提供体制を整えました。延長保育事業や放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実施。妊婦健康診査事業や乳幼児全戸訪問事業などを進め、保育料を国の基準より1割以上引き下げ2人目を半額、3人目を降を無料とし、18歳まで医療費を無料化、第3子から新生児誕生祝い金支給など切れ目のない支

援を実施しています。



▲次世代の担い手を望む

を推進していきたいと考えています。

セミナーの実施、産業技術展等における出展支援

既存企業の振興と流出防止、企業立地に向けたトップセールスを実施していきます。

**質問** 子育て支援策を伺う。

**答弁** 本年3月に「石川町子ども・子育て支援事業計画」を策定し4月には民間保育施設と提供体制を整えました。延長保育事業や放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実施。妊婦健康診査事業や乳幼児全戸訪問事業などを進め、保育料を国の基準より1割以上引き下げ2人目を半額、3人目を降を無料とし、18歳まで医療費を無料化、第3子から新生児誕生祝い金支給など切れ目のない支

援を実施しています。

既存企業の振興と流出防止、企業立地に向けたトップセールスを実施していきます。

子育て中の若者のニーズを踏まえた住宅環境の整備を図るため、町営住宅の建設予定地の調査等を実施し来年度の調査設計及び建設を予定しております。分譲住宅地開発を促進するための支援や民間空き家住宅の活用・空き家バンクの創設空き家実態調査を実施しているところですか。

**質問** 今後3年間の町政の基本的考えは。

**答弁** 町民の視点に立ったオープンな町政運営を基本とし、町民参加の町づくりを進めます。

**質問** 簡易水道と統合は。

**答弁** 総額7億2000万円、平成26年度に字

**質問** 町道幅員4m未満で新築ができない戸数は。

**質問** 重点施策は。

**答弁** 若者の子育て支援や住宅政策、企業立地の推進、まちなか再生、人口減少対策の推進です。

**質問** 第4次拡張計画で料金値上げは。

**答弁** 考えています。

**質問** 町道整備計画の公表を検討し、実施したい。

**質問** 町政懇談会開催は。

**答弁** 実施します。若者の懇談会は早急に行います。

**質問** 公民館に、以前の公民館運営審議会の設置は。

**答弁** 今後、検討します。

**質問** 町道整備計画の公表は。

**質問** 今後、検討します。

**答弁** まちなか再生行動計画は、地元の人参加が不可欠でないか。

**質問** 玉川村との企業団設立は。

**答弁** 当初の企業団方式にこだわらず、共同事業のあり方を検討します。

**質問** 町道幅員3・5m未満道路は178kmです。4mに満たなくとも、みなし道路などの措置もあり、建築不可能な場合は少ないと考えています。

**質問** 藤沢工業団地の残地の販売は。

**答弁** 場合によっては分割もやむを得ない。2年で完売したい。

**質問** 子育て支援策を伺う。

**答弁** 本年3月に「石川町子ども・子育て支援事業計画」を策定し4月には民間保育施設と提供体制を整えました。延長保育事業や放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実施。妊婦健康診査事業や乳幼児全戸訪問事業などを進め、保育料を国の基準より1割以上引き下げ2人目を半額、3人目を降を無料とし、18歳まで医療費を無料化、第3子から新生児誕生祝い金支給など切れ目のない支

援を実施しています。

**質問** 子育て支援策を伺う。

**答弁** 本年3月に「石川町子ども・子育て支援事業計画」を策定し4月には民間保育施設と提供体制を整えました。延長保育事業や放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実施。妊婦健康診査事業や乳幼児全戸訪問事業などを進め、保育料を国の基準より1割以上引き下げ2人目を半額、3人目を降を無料とし、18歳まで医療費を無料化、第3子から新生児誕生祝い金支給など切れ目のない支

援を実施しています。

既存企業の振興と流出防止、企業立地に向けたトップセールスを実施していきます。

子育て中の若者のニーズを踏まえた住宅環境の整備を図るため、町営住宅の建設予定地の調査等を実施し来年度の調査設計及び建設を予定しております。分譲住宅地開発を促進するための支援や民間空き家住宅の活用・空き家バンクの創設空き家実態調査を実施しているところですか。

**質問** 今後3年間の町政の基本的考えは。

**答弁** 町民の視点に立ったオープンな町政運営を基本とし、町民参加の町づくりを進めます。

**質問** 簡易水道と統合は。

**答弁** 総額7億2000万円、平成26年度に字

**質問** 町道幅員4m未満で新築ができない戸数は。

**質問** 重点施策は。

**答弁** 若者の子育て支援や住宅政策、企業立地の推進、まちなか再生、人口減少対策の推進です。

**質問** 第4次拡張計画で料金値上げは。

**答弁** 考えています。

**質問** 町道整備計画の公表を検討し、実施したい。

**質問** 町政懇談会開催は。

**答弁** 実施します。若者の懇談会は早急に行います。

**質問** 公民館に、以前の公民館運営審議会の設置は。

**答弁** 今後、検討します。

**質問** 町道整備計画の公表は。

**質問** 今後、検討します。

**答弁** まちなか再生行動計画は、地元の人参加が不可欠でないか。

**質問** 玉川村との企業団設立は。

**答弁** 当初の企業団方式にこだわらず、共同事業のあり方を検討します。

**質問** 町道幅員3・5m未満道路は178kmです。4mに満たなくとも、みなし道路などの措置もあり、建築不可能な場合は少ないと考えています。

**質問** 藤沢工業団地の残地の販売は。

**答弁** 場合によっては分割もやむを得ない。2年で完売したい。

**質問** 子育て支援策を伺う。

**答弁** 本年3月に「石川町子ども・子育て支援事業計画」を策定し4月には民間保育施設と提供体制を整えました。延長保育事業や放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実施。妊婦健康診査事業や乳幼児全戸訪問事業などを進め、保育料を国の基準より1割以上引き下げ2人目を半額、3人目を降を無料とし、18歳まで医療費を無料化、第3子から新生児誕生祝い金支給など切れ目のない支

援を実施しています。

## Q 町政懇談会の開催は

### A 実施し、若者との懇談会も開催

渡辺 実 議員



**質問** 今後3年間の町政の基本的考えは。

**答弁** 町民の視点に立ったオープンな町政運営を基本とし、町民参加の町づくりを進めます。

**質問** 重点施策は。

**答弁** 若者の子育て支援や住宅政策、企業立地の推進、まちなか再生、人口減少対策の推進です。

**質問** 町政懇談会開催は。

**答弁** 実施します。若者の懇談会は早急に行います。

**質問** 公民館に、以前の公民館運営審議会の設置は。

**答弁** 今後、検討します。



▲体育館の建設がまたれる統合小学校

## Q 上流の水道取水場所は

### A 水量不足で困難と判断

**質問** 簡易水道と統合は。

**答弁** 総額7億2000万円、平成26年度に字

**質問** 第4次拡張計画で料金値上げは。

**答弁** 考えています。

**質問** 町道整備計画の公表を検討し、実施したい。

**答弁** 町道幅員4m未満で新築ができない戸数は。

**質問** 町道幅員3・5m未満道路は178kmです。4mに満たなくとも、みなし道路などの措置もあり、建築不可能な場合は少ないと考えています。

**質問** 町道整備計画の公表は。

**質問** 今後、検討します。

**答弁** まちなか再生行動計画は、地元の人参加が不可欠でないか。

**質問** 玉川村との企業団設立は。

**質問** 公民館に、以前の公民館運営審議会の設置は。

**答弁** 今後、検討します。

**質問** 町道整備計画の公表は。

**質問** 今後、検討します。

**答弁** まちなか再生行動計画は、地元の人参加が不可欠でないか。

**質問** 玉川村との企業団設立は。

**質問** 公民館に、以前の公民館運営審議会の設置は。

**答弁** 今後、検討します。

**質問** 町道整備計画の公表は。



増子美知夫議員

# Q 今、叫ばれている若い女性の人口減少は

## A 対策を再評価し「総合戦略」で明確に

**質問** 若年層女性の人口減少の慢性化により、出生者が石川郡内で最下位さらにこの世代の転出に歯止めがかからないが。

**答弁** 若い世代を中心に人口減少が加速化しています。現在、「石川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。これまでの対策を再評価し、若い世代が定着する施策を明確に位置付け実行性のある取り組みを推進します。

**質問** 近隣の町村では、保育料の無料化実施や、来年に向けて検討中の行政もありです。こういった生活に届く強い政策を打ち出してほしい。

**答弁** 若い人達のアンケートで、課題も多く出ております。これから町行政の施策に明確にし、組織づくりについて検討します。

### Q 高齢者など交通弱者の支援は

### A 新たな「生活交通ネットワーク」を実現

**質問** 高齢で車の運転ができなくなり、買い物など移動手段がない人が徐々に増加している。こうした生活に直結する問題を抱えた交通弱者への取り組みは。

**答弁** 既存バス路線の市町村協議が整い次第、平成31年度を目標に交通体系の強化の見直しを検討しています。

**質問** 町内は6地区あり、地域体系や高齢者世帯の

状況も違っている。全地区共通の方法ではなく少人数対応の乗り合いタクシーなど、効率のよい方法を検討すべきと思うが。

**答弁** 地域の特性がありますので、地域の皆さんと協議し交通弱者の方に本当に対応できるものを検討していきたい。

### Q 高齢者を支援する小集団活動について

### A 住民主体の支え合いを支援

**質問** 必ず到来する「超高齢化社会」に対応するため、小集団（行政区の組単位等）で日常生活の見守りや軽作業を支援する仕組みづくりを町行政として支援すべきと思うが。

**質問** 必ず到来する「超高齢化社会」に対応するため、小集団（行政区の組単位等）で日常生活の見守りや軽作業を支援する仕組みづくりを町行政として支援すべきと思うが。

### Q 地域自治協議会の設立について

### A 地域環境の変化によりその課題解決のため地域自治協議会の設立に取り組む

**質問** 平成28年度試行運用を予定しているが、進

捗状況は。

**答弁** 先進地視察研修、大学教授の講義など行い進めており、進捗状況の違いもあるが、さらなる支援を図ってまいります。

**質問** 現状と大きく変わる点や交付金制度、また新たな事務の増加で人的資源については。

**答弁** 運営方法、交付金



▲白鳥の会サロンの集い（沢田地区）

を大幅に変更する予定はないが、新たな事務増加も見込まれる。職員のサポートなども含め、体制を構築していきたい。

**要望** 私も自治センター在任中は、先進地3ヶ所を視察する機会を得ました。それぞれ人口減少問題を抱える中で、自治協議会を機能的に運営していた。

特に、事業活動の交付金は地区独自の特性を発揮できるように、十分な裁量権を与えられている先進地区があり、これが地域づくりの原点だと感じました。石川町行政としても、6地区の独自性を発揮してもらうことを目指し、新組織交付金制度の検討を要望します。

# Q 町民の利便性を確保する支所の場所と職員配置は

## A 窓口機能は公民館が適当と判断、公民館職員の併任で

中村孝太郎議員



**質問** 新庁舎については、お年寄りなどから不便になって困るとの声があったことは承知のとおりで、新庁舎移転に伴い、町民の利便性を確保するために、窓口機能の設置と町内循環バスの運行を約束してきたが、具体的な計画と仕事の拡大に伴う職員採用について伺う。

**答弁** 窓口機能については公民館が適当と判断。発行可能な証明書は、住民票、印鑑証明、税証明関係など、可能なものを町内で精査し、仮称「まちなか窓口」を設置、公民館職員で対応する考えです。

バス運行は、町所有のマイクログラスで事故があった場合の対応、保障について伺う。

**質問** 仕事の中心が違ってものを併任でやらされる職員の負担は重くなりませんか。何でも併任で済ませるやり方に、私は反対です。

### Q まちなか再生 社会資本整備総合交付金の補助率は

### A 補助率は10分の4



▲傷みが激しい町道

**答弁** 補助率は10分の4です。

### Q 町道や橋梁など生活基盤の整備は

### A 劣化損傷の激しい所から改修整備

**質問** まちなか再生については、まちなか再生委員会の「まちなか再生行動計画(案)」を基に、町民の皆さんや各種団体と意見交換会をしながらまとめたところありますが、各種団体との意見交換会は一度だけです。これで町民の声を聞いたとは言えないと思う。

**答弁** 町の駅は、人や物の交流、待合機能、情報提供や物産の直売機能などが内容ですが、場所の公表には至っていません。まちなか再生の総事業費は約18億円を見込んでおり、社会資本整備総合交付金の補助事業の活用を考えています。

**質問** 社会資本整備総合交付金の補助率を伺います。

**質問** 町道や橋梁の改修など生活基盤整備について伺います。町道や橋梁の傷みがあり、特に裏通りなどは継ぎはぎだらけ、橋梁の錆びや木橋の腐食などが見られ、安全と景観上も問題です。把握状況と整備方針を伺います。

**答弁** 町道や橋梁は経済成長期に施工されたものが多く、劣化損傷が進行していると認識しています。路面の損傷状態の把握のために路面性状調査を行っており、橋梁も長寿命化修繕計画を作成し、損傷の激しい箇所から改修整備して参ります。



瀬谷 京子議員

# Q 将来的に認定子ども園への移行はあるのか

## A 前向きに検討したい

**質問** 町立保育所の今後の入所児童数の見込みと職員配置計画は

**答弁** 9月1日現在、第一保育所97名、第二保育所99名、野木沢保育所48名、沢田児童館33名、合計277名で、今後も大きく増減はないものと思われま

**質問** 正職と嘱託の数が逆転している。共に同じ仕事をして、共に大きな負担となっているが待遇に差がある。

**答弁** 15年間正職保育士の採用がなく、将来的に民間委託の考え方もあったようだが来年度正職保育士の採用に至った理由は、

**答弁** 平成25年、石川町保育運営等検討委員会の提言を踏まえ、本町の保育をリードする公立保育所の必要性、財政状況等を勘案し、3名採用します。(今年度3名定年退職)今後は児童数、学校の状況、社会情勢を考慮した部分と民間に移行する部分を検討していきます。

**質問** 保育士不足といわれているが、本町は長年採用がないので町外や県外へ流出している現状だが、今後継続して正職員を採用する考えは。

**答弁** ここで申し上げることはできません。

**質問** 平成27年3月に策定された「石川町子ども・子育て支援事業計画」(計画期間27年度か

ら31年度)によると、社会福祉法人による認定子ども園の参入を促進し、公立施設と法人等による施設により安定的な教育・保育を確保とあるが、



▲七夕誕生会(第一保育所)

**答弁** 町が新しい保育所をつくる場合、補助金の支援がないため補助が受けられない社会福祉法人等の民間を活用しなければなりません。また、町が担わなければならない必要で、さらに民間施設があり、この3つの中でどのような形にしていけるかを明確に検討しなければなら

ません。  
**質問** 将来的に認定子ども園への移行はあるのか。  
**答弁** 前向きに検討します。  
**意見** 人間形成にとって

極めて重要な幼児期の保育・教育である。早急の方針を定めるべきである。  
**Q まちなか再生計画の課題は**

**A 町民の皆様と協働体制を構築**

**質問** まちなか再生行動計画は実効性をもって早急に取り組むことを期待している。何を優先的に推進していくのか。  
**答弁** 可能な限り国県の補助事業を活用し、事業の具現化を図っていきま

す。  
今年度は石川駅前トイレ整備、自由民権史跡整備と用地取得、桜谷整備計画策定、県道の右左折レーン整備、森林技術センター改修や鉱物資料

館の基本構想策定、文教複合施設等利活用計画策定ほか総額で約4億4800万円が見込まれます。  
平成28年度は、本庁舎・分庁舎・県合同庁舎・体育館の解体、おまつり広場・若者向け住宅の設計、空き店舗の活用や観光素材の掘り起こし、街路灯のLED化ほかを予定しています。

**質問** 課題は。  
**答弁** 行政だけで進められるのではなく、町民の皆様の積極的な参加協力なくして実現し得ないものです。どういう形で協働して話を進めるかが課題です。

**意見** 十分な説明責任を果たしていただきたい。

# あれがどうなった?

## 一般質問のその後は

平成26年9月定例会より

### 閉校後の跡地利用の現状は

●「閉校となる小中学校の跡地利用の扱いは」の質問に対し、「地域での利用状況などの情報を共有しながら有効な活用を検討しているところです。」との答弁であったが、その後は、

後、耐震改修及び大規模改修を行い、文教複合施設として整備し、

放課後児童クラブや子育てサロン、生涯学習の拠点等として活用できると考えています。旧中谷第一小学校については、主に町の公文書や歴史文書等の保管施設として活用されており、旧山形小学校については、学校法人石川義塾に校舎及び体育館を譲渡、グラウンドを貸与し、校舎は教室等を改修し男子学



▲学石男子学生寮として利用される旧山形小学校

舎、旧南山形小学校、旧中谷第二小学校、旧母畑小学校の各閉校施設については、現在、地域で利活用の検討を進めています。

### 鈴木家の復元計画は

●「鈴木家の復元計画は」の質問に対し、「主屋の復元は、まちなか再生行動計画で検討します。」との答弁であったが、その後は、

●平成26年12月に策定した「まちなか再生行動計画」の前期計画の中に、自由民権史跡の整備として、鈴木重謙屋敷の再建及び周辺整備について計画をしています。



▲鈴木重謙屋敷跡地

この重謙屋敷は、町の指定文化財になっていきますので、文化財としての当時の屋敷を復元しながら整備するとともに、石川地方の自由民権運動の経過や歴史資料の展示等ができるよう多目的な用途に

進めています。民間利用についても併せて検討を進めていくところです。

使用できるスペース等を設け、当時の運動の歴史について理解を深められるような活用の方法や、また、できるだけ町民の皆さんが活用できるような施設となるよう整備の検討を行っております。

今後は、整備に必要な敷地の購入や、建物の再建及び周辺整備を図るとともに、管理や運用の方法についても検討をし、歴史の伝承や街中のにぎわいづくりにつながるよう整備を進めていきたいと思

います。なお、平成26年度に行った事業内容としては、重謙屋敷再建にかかる実施設計を委託しました。

# 未来に向かって!!



## ― 高校生の声 ―

学法石川高校

3年 小玉 和寿

### 将来は福島県の警察官に



小玉和寿さん

私は目標をインターハイ優勝に決めました。初心者には高すぎる目標だと思いますが、決してそんな事はありません。初めから

目標が低くてはやりがいがありませんし、夢は大きく持った方が人は成長すると私は考えています。入部当時、私は部内で一番技術も知識もないという状況でした。しかし、同級生や先輩にいつまでも後れを取っているままでは、目標としているインターハイ優勝には到底届きません。ですから私は、人一倍練習することを決意し、継続する努力をしました。

さらに高校三年時にはキャプテンを任せられ、より一層練習に励みました。その結果、目標としていたインターハイ優勝を成し遂げることができました。このことから、努力は報われるということに強く感じました。

私の将来目標としている職業は警察官です。この職業に興味を持ち始めたのは、高校二年生時の夏でした。初めは石川町のような町おこし行事が充実した町の環境を作るのに携わる職業に就きたいと考えていました。しかし、次第に国民の

私は高校入学後から自転車競技部に所属し、高校生活のすべてをかけて、自転車競技に打ち込んできました。私が自転車競技部に入学した理由は、伝統のある学法石川高校自転車競技部に身を置き、心身共に成長したいと思ったからです。また、何かにひたむきに努力することは私の人生の中でとても大きなものになると考えました。



▲平成27年度全国高等学校総合大会自転車競技

議会広報編集特別委員会	
委員長	根本 重泰
副委員長	瀬谷 寿一
委員	近内 雅洋
委員	小木 芳郎
委員	増子美知夫
委員	山田 英重

### 編集後記

今、国が進める「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」に伴い、石川町でも地方創生戦略石川版が作られようとしています。地域の将来を考える時、今何が起きているのか、何を進めようとしているのか、町民一人ひとりが確かな情報を知ることが最も大切なことだと考えます。

石川町は「みんなが主役、協働と循環の町」を将来像として掲げています。そのためには、行政の動き・議会の動きを町民の皆さんに知っていただき、石川町が一丸となって未来を考えていかなければなりません。皆さんのご意見をいただながら、わかりやすい言葉で、わかりやすい紙面を目指し、編集委員全員で議会だよりの発行に努めてまいります。

根本 重泰